

2019年3月期 第1四半期 決算の概要

2018年8月1日

日本ユニシス株式会社

アウトソーシング、システムサービスが牽引し増収
 販管費の増加はあるも、営業利益は微増

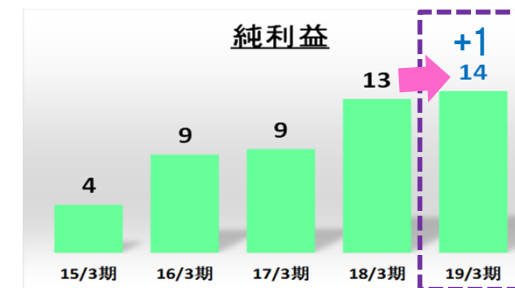
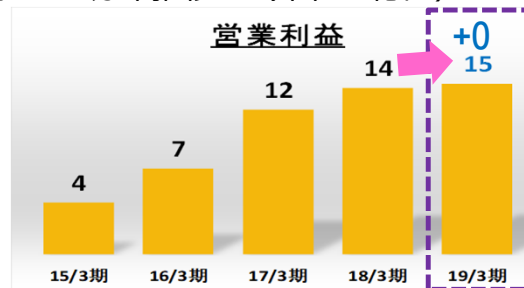
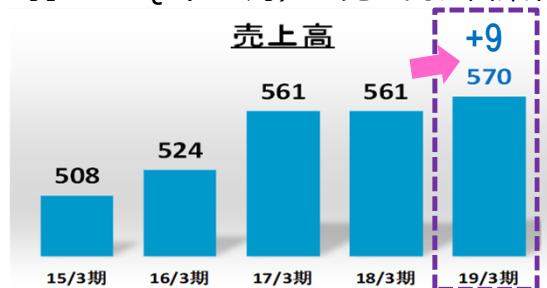
(単位：億円)

	第1四半期 (4-6月)		前年同期比 増減	
	2019/3期	2018/3期		
売上高	570	561	+9	+1.6%
売上総利益	140	138	+2	+1.7%
販管費	▲125	▲123	▲2	▲1.7%
営業利益	15	14	+0	+2.2%
(営業利益率)	(2.6%)	(2.6%)		(+0.02pt)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14	13	+1	+5.1%
受注高	607	575	+32	+5.5%
受注残高	2,244	2,121	+123	+5.8%

<1Q決算のポイント>

- **売上高**
 アウトソーシング、システムサービスが牽引し増収。
- **営業利益**
 サービスの増収効果と収益性改善で製品販売の減益をカバー。売上総利益が前年同期比増加するも、販管費の増加により、営業利益は微増にとどまる。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**
 税負担の減少もあり若干増益。
- **受注高・受注残高**
 受注高はシステムサービスを中心に増加。受注増に伴い、受注残高も増加。

【ご参考】 1Q (4-6月) の売上高、営業利益、純利益の5カ年推移 (単位：億円)



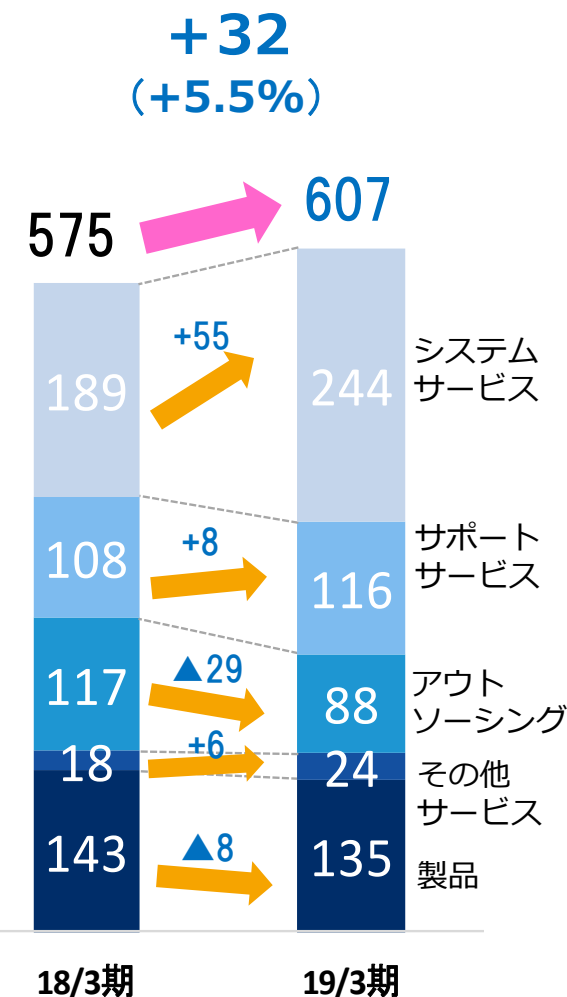
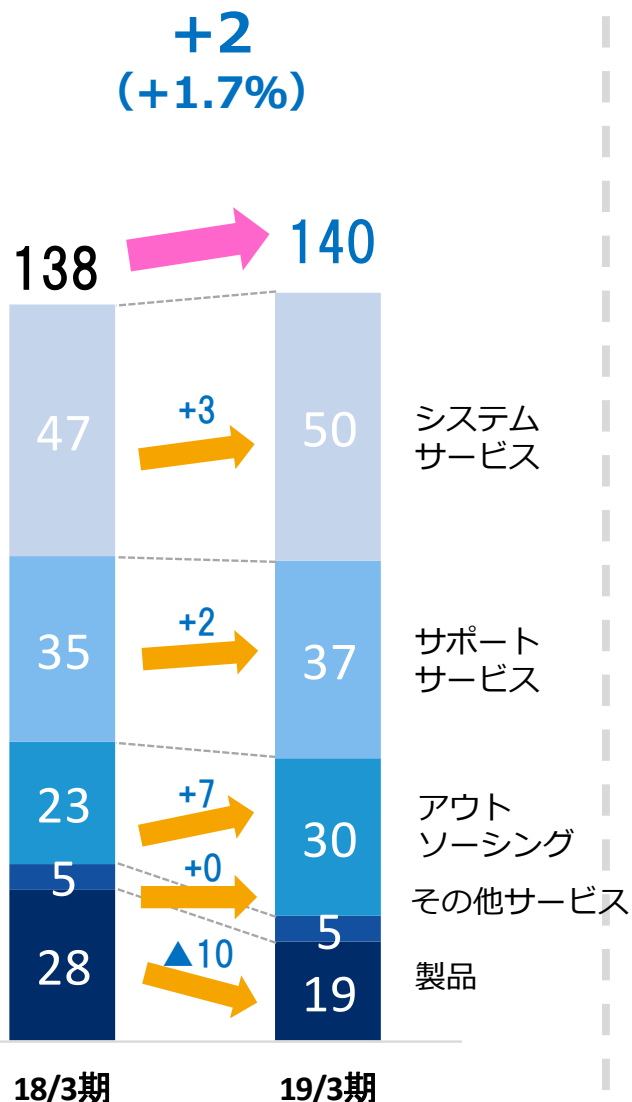
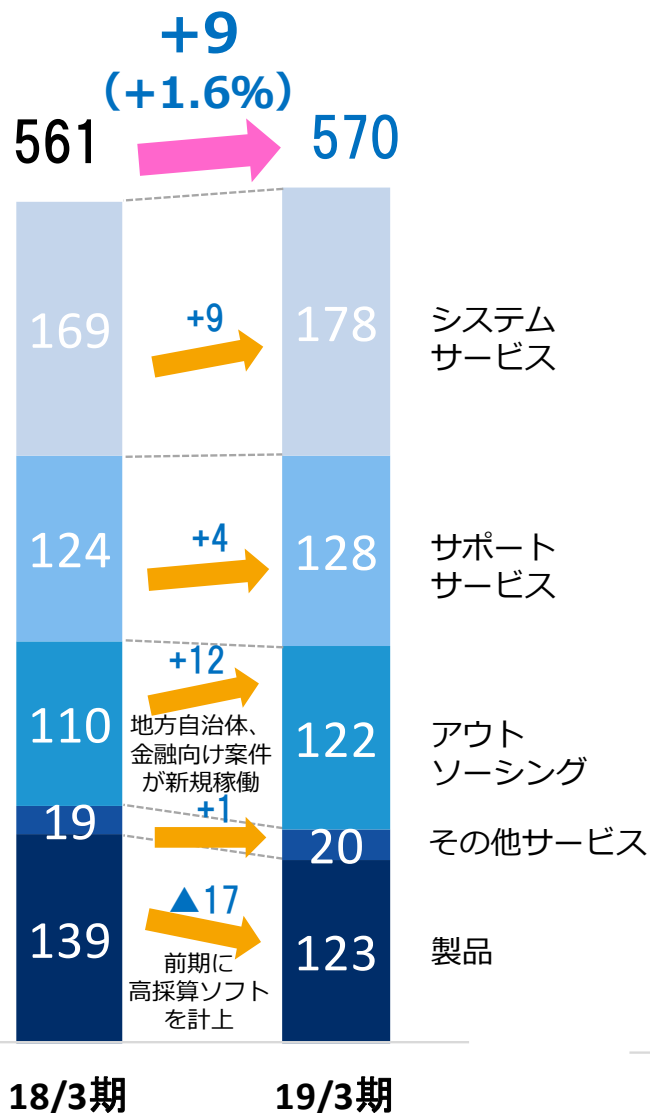
(単位：億円)

売上高

売上総利益

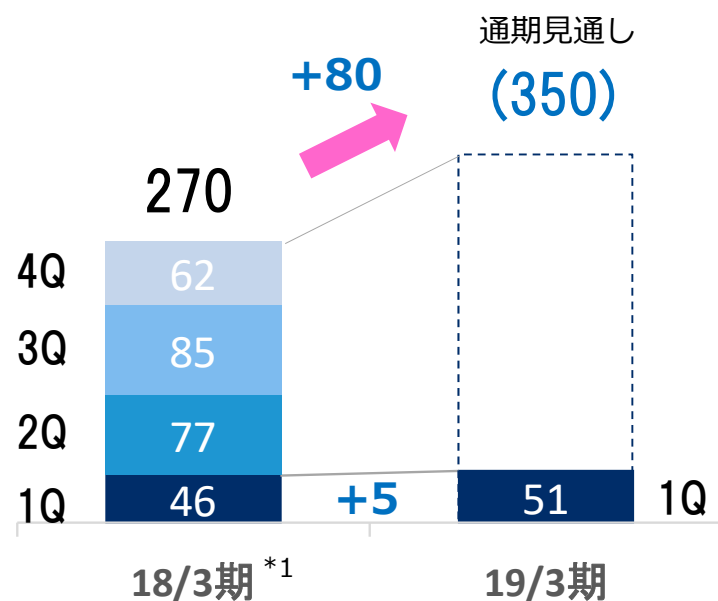
【ご参考】

受注高



(単位：億円)

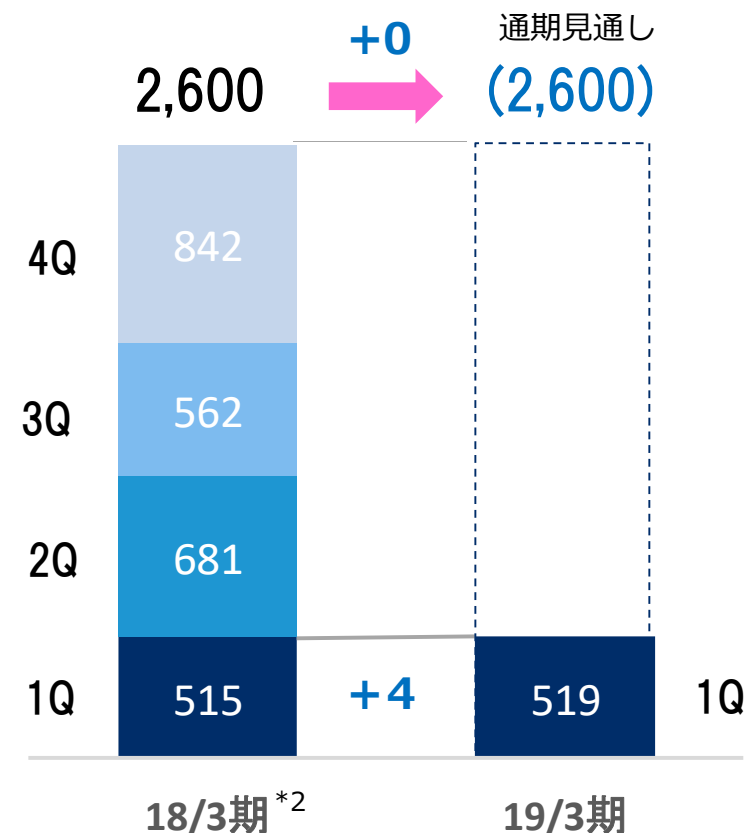
注力領域



- 電子決済サービスの決済種類や加盟店の増加
- モビリティサービスプラットフォーム (smart oasis®) におけるサービス提供先の増加
- デジタルトランスフォーメーション関連案件の増加

*1 18/3期は前中期経営計画での「デジタルイノベーション」「ライフイノベーション」売上高の合計

ICTコア領域



- BankVision®11行目開発継続中
- 金融機関向けシステム開発堅調
- 地方自治体向けアウトソーシング新規開始

*2 18/3期は前中期経営計画での「ビジネスICTプラットフォーム」売上高

上期の売上高、営業利益、四半期純利益の予想は
公表値（5月9日）から変更なし

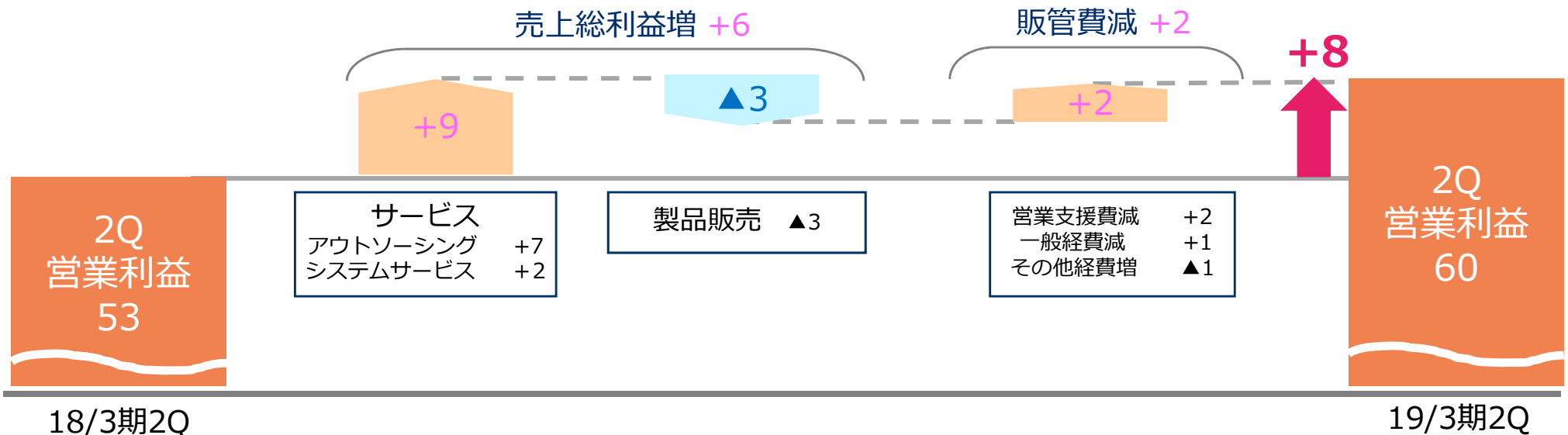
（単位：億円）

	19/3月期 1Q実績		19/3月期 2Q予想		19/3月期 上期予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	570	+9	760	+2	1,330	+11
営業利益	15	+0	60	+8	75	+8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14	+1	38	+4	52	+5

* 上期予想の内訳は補足資料をご覧ください。

【2Q(7-9月) 営業利益の増減分解】

（単位：億円、増減は前年同期比）



Foresight in sight

UNISYS

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。